

教職課程センター多摩相談室のご案内

■活動内容：教職進路相談、採用試験に向けた講座の開催、教職関係図書資料の紹介・閲覧など・・・

■参考書・過去問・教科書の他、教職に関する図書資料を揃えております。団欒スペースもありますので、お気軽にセンターに来室下さい！

皆さんの参加お待ちしております！

☆自主学習グループに参加しませんか！

多摩相談室では、自主学習会を開催しています。内容は、論作文指導や面接などの教員採用試験準備をはじめ、各自が課題を持ち寄って学習をしています。「生徒の自主性を育てる教育とは？」「キャリア教育の必要性とは？」など、皆で様々なテーマについて自由に討論しながら、教育について考えています。採用試験はもちろんですが、皆さんが教育について日頃感じていること、思っていることを語り合ってみませんか。

☆センターの主なスケジュール☆

(前期)

4～5月・・・(新3年生)履修カルテ提出&返却

5～6月・・・教員採用一次試験対策講座

8月・・・教員採用二次試験対策講座

～後期も色々企画をしていく予定です～

(※これらはあくまで予定ですので、日程・内容は変更する場合があります。)

相談員主催
の勉強会も
行っています

☆現場経験豊富な相談員が相談に応じます☆

長年、学校現場で活動をされてきた相談指導員の先生方が週3日入室し、教職を目指している学生さんのサポートをいたします。

ぜひお気軽にセンターへお越し下さい！

ご質問、詳細は下記アドレスまでご連絡下さい。

(水)重田先生：保健体育科
(木)本山先生：社会科
(金)高橋先生：社会科

お知らせ

※2017年度新3年生へ

履修カルテの提出について

※下記期間中に必ず履修カルテを提出・受領してください。

期間厳守!!

■【提出】2017年4月3日(月)～4月14日(金)

■【返却】2017年5月8日(月)～5月12日(金)

※詳細は各学部の教職掲示板または教職課程センター多摩相談室でご確認ください。

教職相談の申し込み、質問は・・・

★窓口へ来室、もしくはメールにて事前申し込み★

メールは、公的な依頼文にふさわしい文体・体裁を考え、かつ以下の内容を必ず盛り込むようにして下さい。

①氏名②学部・学科③学年④学籍番号⑤面談希望時間

(第3希望まで)⑥相談内容⑦メール・アドレス(パソコンから連絡可能な連絡先)を必ず記入してください。

☆メールニュース配信

多摩相談室より、学生に向けたお知らせをメールニュースとして不定期で配信します。ご希望の方は、件名に「メールニュース受取り希望」と入力の上、「氏名・学部学科・学年・学籍番号」を下記アドレスまでお送りください。

*宛先：kyoshokutama1@ml.hosei.ac.jp

相談指導員 3名

水曜日：重田 博（保健体育科、特別支援教育）

埼玉県で体育の教員として勤務し、縁あって教職課程センターでお世話になり、5年目を迎えることになりました。高等学校をはじめ特別支援学校（病弱・肢体・知的）の現場を経験してきました。教員を目指す学生のみなさんが“初志貫徹”できるように、みなさんと一緒に考え、具体的なアドバイスができればと思っています。しかし、道は険しいことは事実です。ある本に「食らいつく気持ちが人を成長させる」という言葉がありました。目標達成のために貪欲に一歩一歩着実に努力し、ステップアップしていくことが大切なことだと思います。気軽に教職課程センターを訪ねてください。

木曜日：本山 明（社会科）

東京の下町で中学校の社会科の教員をしていました。今はいくつかの大学で社会科教育法を教えています。34年間で4か所の中学校を経験し、素敵な子どもたち、保護者、地域の方と会って来ました。若い時はベテランの教職員に、ついこの前までは若手に支えられていました。好きなことは手づくりの授業を創作する事と美味しい食事をする事です。

私自身の教員人生も、山あり谷ありで、平坦なものではありませんでした。教員志望の方の応援が少しでもできたらと思っています。気軽に来ていただけたらと思っています。

金曜日：高橋 繁（社会科）

東京のおもに多摩地区の中学校に40年間勤めてきました。行事や学級・部活動・生徒会などの活動を通して、子どもたちと数々のドラマを共有できたことが私の財産となっています。社会科の授業でも、子どもとともに学びあい、たくさんの方を教えてもらいました。

素敵な中学生と接する時間が減ってしまったことは淋しいかぎりですが、今年は教員をめざすみなさんと夢を語りあっていたらうれしいです。

平塚 眞樹（社会学部）

法政大学に勤務して25年、このキャンパスで一緒に学んだ数多くの学生さんたちが、今では日本各地で小中高教員になって、時に私たちの仕事を助けてくれています。彼らから教えられるのは、学生時代に狭義の「勉強」だけでなく、地に足の着いた学内外の諸活動に自主的に関わり、多様な他者と出会いじっくり信頼関係を紡ぎながら、人間として耕される経験をつくること、実は教員採用試験にも教員としての長い人生にも役立つのだということでした。そんな豊かな大学生活づくりに、私達も少しでも役に立てたらと思います。

林 園子（スポーツ健康学部）

埼玉県公立高校で、保健体育科の非常勤講師として勤務しておりました。現在は、スポーツ健康学部にて保健体育に関する科目を担当しております。私も中学生のときから教師を夢見て進んできました。生徒たちと共に過ごす日々は言葉に表すことのできないくらい最高に楽しいです。自分の経験を通して、教員を目指している学生のみなさんのお手伝いができればと思います。保健体育に限らず、他の教科を志望する学生のみなさんともお話ができれば嬉しいです。

永木 耕介（スポーツ健康学部）

某国立教育大学を2校、計28年ほど勤務していました。法政大学の皆さんはポテンシャルが高いので、“本気になれば”必ずや教員になれるし、その後も学校を引っ張っていくリーダー的存在になることでしょう。期待しています。

事務職員

鈴木 紗和子（月・火・木）

教職課程センターの事務としてお世話になっております。センターに来る学生さん達は、参考書を開いて熱心に勉強をしたり、時に友達同士や先生方と楽しそうに雑談をしたり、皆さん有意義な時間を過ごされています。そんな姿を陰ながら見守り、少しでも皆さんのサポートが出来ればと思っています。

教職相談の面接予約や書籍の閲覧など、お気軽にセンターへ来て下さい。